



2025年12月21日 75周年記念ミサ後の集合写真

## 主任司祭 ビジュ・キシヤケール

新年2026年明けましておめでとうございます。今年も希望、そして新たなことに挑戦し、その実現に向けて努力しながら日々の糧である祈りを大切に、笑顔、喜び、何事にも神様の恵みと聖霊の導きを見出す一年でありますように祈り申し上げます。

新しい年を迎えるにあたって、昨年を振り返ってみましょう。2025年は私たちの教会共同体にとっては神様の恵みと聖霊の導きを体験できた年でした。特に、聖年の年を迎え、聖年の祈りを唱え、指定巡礼教会への巡礼などを行い、教皇フランシスコが制定された聖年の年を祝うことができました。同時に神言修道会においても150周年の節目の年でした。そして、南山教会75周年という節目の年を迎え、様々な行事計画をして、12月に盛大な記念ミサを執り行い、国と文化を超え共同体の一員として430名と一緒にこの記念ミサに与り、ともに祈りをし、お互いの信仰に勇気づけられ、励まされたのではないのでしょうか。聖霊の導きを信じ、皆様のご協力の中でできた大きなイベントでした。

2026年に向けてこの75周年記念ミサで確認し、励まされた信仰共同体のあり方をお互いの協力と積極的な参加によってさらに豊かにしていけるよう心がけましょう。

今年から、さる75年間教会の歩みをもとにしてくださった司祭、信徒に感謝しながら100周年に向けて、開かれた共同体、平和を語る共同体、祈りを大切にする共同体、誰も孤独を感じない共同体、お互いに許し合う共同体、シノダリティのもとで行動する共同体を築きあげましょう。

教皇フランシスコは、現代社会においてキリスト者が迷うことなく信仰の旅路を歩み続けるために、二つの大切なことを提示されました。一つは、シノダスの歩みであり、もう一つが、25年に一度の聖年の機会を捉えて、キリスト者が希望を掲げて歩み続ける巡礼者であり続けようという呼びかけでした。

私たちの信仰は共同体の中で育てていくものです。つまり教会とはみんなと一緒に教会共同体を作り上げなお互いの信仰を励まし合う神の民の集会です。お客様のようにミサに与るだけではなく、教会の行事活動と一緒に参加し、共同体を育てるために一人お一人の力と助けが注がれることをシノダスの教会というのです。聖霊の導きのもとで、互いの尊厳を尊重し護りながら、耳を傾け合い、助け合い、祈りをもとにし、国、文化を超えて、次の100周年に向けて歩みましょう。

### 平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時  
第4土曜日 午前10時30分 子供のミサ(ナザレ館)  
火曜日 午後7時  
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時  
ゆるしの秘跡は各主日ミサ前に受けることができます。

### 主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ前、4時30分聖体賛美式)  
日曜日 午前8時・10時  
Sunday Mass in English 9:30 am  
(in the Marian Hall)  
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後2時

## 堅信感想文

ジュリアーノ 古畑佑季  
マグダレナ・ソフィア・バラ

古畑春香

私たちは南山教会75周年記念ミサの中でミカエル松浦悟郎司教様より堅信の秘蹟を授かりました。この大きな喜びの日を、フランシスコ・エスカランテ・モリーナ大司教様、パウロ成井大介司教様、ビジュ神父様をはじめとする多くの司祭による共同司式ミサで迎えられること、また、南山教会信徒の皆様は温かく見守っていただけましたことは大きな喜びです。

堅信準備の勉強会を通して、神への信頼と証しする責任、そして一人ひとりに与えられる聖霊の賜物について学びました。これからは私たちが神の道具として働き、日常生活の中でキリストを証ししていけますように、聖霊の御助けを心から願い求めたいと思います。南山教会のすべての皆様と、私たちが所属するオペラ・ディ・ナザレの共同体に感謝し、いただいたお恵みを心に刻み、キリストと共に喜びの内に歩んでいきたいと思っています。

クララ 伊藤 美聡  
私は、堅信式を受けて改めて、

真の信徒となったことを感じました。堅信式までの勉強会では、教会の七つの秘蹟についてや、その教会の働きを一つ一つ詳しく学んでいきました。今まで教会は、ミサをしたり、お祈りをしていこうだと思いましたが、その教会では一つ一つ役割があったり、学ぶことがたくさんあり、教会について新しく認識しました。そして、堅信式を受け真の信徒になった喜びとともに、さらに祈りと教会について信仰を深めたいです。

レオ 渡辺 弘幸  
ソフィア 渡辺 啓子

南山教会共同体の皆様、教会創立七十五周年おめでとうございます。

聖年の年にも重なり、フランシスコ教皇のご逝去、新教皇レオ十四世ご就任と、幾重にも記憶に残る2025年に洗礼と堅信の秘蹟を授かり、夫婦共々喜びに満ちております。

松浦司教様の温かい眼差し、大きな包容力に感服し、真に共同体の一員になれた気がします。

司教様、司教団の皆様にお導きいただき、日々祈り、信仰を深めていきますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

ヨゼフィーナ・バキタ 田島ゆき

堅信の秘蹟を受けてほっとしていると同時に、これから「宣教」という役割が加わると思うと、責任がより重くなったように感じます。私のやり方でのいうのが一番だとは思いますが、これからは私生活と両立できるようなかたちを考える必要があるかなと感じます。

準備の講座は休まずに出席し、逆にリハサルだけでも動かせない予定で休み、当日に詳細を知りました。また、後方の席で大変助かりました。

堅信式を迎えるまでの間のことで、祈りはとても大事なのだと改めて実感しました。時折忘れがちな私ですが、簡単な祈りだけでも続けていこうと思います。祈ることで、神様との絆がさらに深くなっているように思います。正直に言えば、神様がいるから私自身正気を保っているように感じます。

最後になりますが、より大きな責任を果たすべく、努力を重ねてまいります。そして、堅信式当日に声をかけてくださった皆様ありがとうございます。これからもよろしくお願ひいたします。

ハ ヘラン

During my Confirmation journey, I learned many things that helped strengthen my connection with God. At first, I didn't fully understand what confirmation was or nervous during our first lesson because everything felt new to me.

Thanks to the Sister and the priest, I was able to learn so much more about Catholicism, including the seven sacraments, how the Church works, and the different roles within the Church community. Confirmation was more challenging than I expected, but because it went into much more detail than what I learned during my First Holy Communion, it became more meaningful and engaging. I found this experience very interesting, especially learning new things that I had never known before.

It was truly an honor for me to receive my confirmation at Nanzan Church, especially during its 75th anniversary. Our priest, Sisters, and teachers, for helping and supporting me throughout this journey. From now on, I want to take my responsibilities more seriously by praying regularly, helping others, and continuing to strengthen my relationship with God.

巡礼記(11月) 大川 隆  
○東京大司教区 八王子教会

(11月2日)

高尾山で有名な八王子市は、大  
学・短大が多くある文教都市で多  
摩地区の拠点です。1950年に  
献堂された聖堂は、来年建て替え  
が計画されており、現在の聖堂で  
の巡礼が今年度最後となるそう  
です。敷地内に幼稚園が併設され  
おり、子供たちがルルドのマリア  
様の前で祈る姿が目に見えま  
す。



○東京大司教区 小平教会

(11月2日)

教会事務所の榎原さんの出身教  
会である小平教会を訪ねました。  
小平教会は無原罪の聖マリアに捧  
げられた三角屋根の教会で、木の  
ぬくもりを感じる祈りの場です。  
主任司祭からは、かつては幼稚園  
が併設されていたが閉園になった  
こと、聖堂の珍しい二人掛けのイ

スは閉鎖された女子修道会から譲  
り受けたこと、聖堂が古くなった  
ので順次リフォームしていること  
など説明を受け、最後に巡礼者の  
祝福をいただきました。



○東京カテドラル関口教会

(11月3日)

カトリック・アクション同志会  
主催の「教皇レオ14世のために祈  
る」荘厳司教ミサに与りました。  
主司式は菊地枢機卿、共同司式は  
神言会マーティン神父を含む10名  
ほどの司祭により捧げられまし  
た。12年ぶりの参加で、グレゴリ  
才聖歌・ラテン語によるミサの荘  
厳さを味わうことができました。

ミサ前の諸聖人の連祷から始り、  
ミサ後の祈りまで2時間半ほど、  
八百名ほどの参列者が心を一つに  
して教皇のために祈りました。



典礼一口メモ 香部屋の窓から  
第88回 「共同祈願」のお話  
典礼委員長 新内飛鳥

主のご降誕のお喜びを謹んで申  
し上げます。そして私たちの小教  
区共同体にとって100周年に向  
けての新たな一歩を踏み出せたこ  
とを心から感謝します。

さて、今回から次回にまたがつ  
て共同祈願についてお伝えしま  
す。参考になさっていただければ  
幸いです。

主日のミサで私たちは共同祈願  
を捧げます。信仰宣言に続いて3  
ないし4の意向文を先唱者が唱え  
一同は呼唱します。共同祈願は信  
者の祈りとも呼ばれています。

ローマミサ・典礼総則69では  
「祈願すなわち信者の祈りにおい  
て、会衆は信仰のうちに受け入れ  
た神のことに何らかの方法で答  
え、洗礼による自分の祭司職の務  
めを実行して、すべての人の救い  
のために神に祈りをささげる。」  
と表記しています。

第二バチカン公会議を受けて実  
行された典礼刷新によってミサな  
どに「共同祈願」という祈りが導  
入されました。原型は聖金曜日の  
主の受難の祭儀の盛式共同祈願に  
見られます。ミサにおける共同祈  
願はその基本的構造を凝固し更に  
シンプルになっています。



総則 94では「助祭がいるとき、助祭は意向を唱える」ことになって  
います。意向を唱える人の数は必  
要のない限りは増やさない方が良  
いです。インターナショナルミサ  
など、複数の言語を使うときは会衆  
の呼唱を一つの言語、共通の言語  
に統一することを考慮する努力が  
求められます。そうでなければ本  
当の共同祈願として成り立ちませ  
ん。一致のしるしである典礼の意  
味が薄らいだり損なう恐れがある  
からです。また、殆どの場合、意  
向を受けて会衆が呼唱しますが、  
場合によっては聖金曜日の典礼の  
ように沈黙を持つことでもできま  
す。

基本的な構造は、初めに司祭が  
招きの言葉を唱え、と先唱者が意  
向を唱え、会衆がその意向のため  
に祈る。この形を繰り返したのち  
司祭の祈りで結びます。

興味深いことですが、先唱者が  
唱える言葉は意向であって祈りで  
はない。ということ。である  
から尚のこと「解り易く簡潔」で  
あることが大切です。主日のミサ  
で使う「聖書と典礼」に載せられ  
た文章は例文でありながら模範的  
な意向文です。

また、共同祈願の意向は①教会  
の必要のため。②国政にたずさわ  
る人々と全世界の救いのため。③

困難に悩む人々のために。④現地  
の共同体のために。という順番で  
唱えるように指定されています。  
それで私たちは特別な意向で捧げ  
たり、儀式を含む主日のミサでは  
「4つ目の祈り」と呼んで意向を  
作る機会があります。そこで、次  
回はこの意向文を作るにあたって  
守るべき約束事や、より滑らかに  
祈るための工夫を紹介します。

教会学校クリスマス劇 12月14日



堅信式 12月21日





創立 75 周年 記念ミサ



司祭団より

1月4日

75周年記念ミサ等について

報告・連絡事項

1. 1・2月予定確認(信徒代表)

1月1日新年平和ミサ・成人のお祝い、1月4日評議会、1月16日マリア会新年会、1月18日ヨセフ会新年会、1月中旬に75周年記念誌発行、2月18日灰の水曜日。

2. 神言神学院によるミサ(主任司祭)

12月7日9時半のミサを神言神学院の典礼奉仕によってお捧げした。この日の献金を神言神学院にお送りした。

3. 教会学校クリスマス劇(教会学校)

12月14日10時ミサ後に行われた。

4. 75周年記念ミサについて(主任司祭・典礼委員長)

12月21日に松浦司教様の司式で行われた。ミサの中で堅信式も執り行われた。新潟教区の成井司教、教皇大使のフランシスコ・エスカランテ・モリーナ大司教もお迎えした。歴代の主任司祭として、パウロ師、ブルム師、また、エマン師、アルバ師、神学院のジップル師も共同司式をしてくだ

さった。400人ほどの参列があった。牧野が池ブリーズバンドも演奏で祝いを盛り上げてくれた。75周年記念歌を歌うこともできた。ミサ後には、司祭団が準備した記念品が配られた。また、マリア館ホールではマリア会の準備によりパーティーが行われた。堅

信のお祝いもできた。(記念品は350名分を準備したが、足らなかったため、聖歌隊や司式司祭、踊りの方々、その他のために100人分を28日に準備し、配布し終わった。)

ミサ後の茶話会には100名程が参加し、料理もちょうど良い量を準備できた。

5. クリスマスミサについて(主任司祭・典礼委員長・ヨセフ会)

12月24日17時と19時、25日10時のミサが捧げられた。入堂の際に子どもたちによるロウソクの奉納が行われた。駐車場不足に対するため、男子部の駐車場を借りた。17時と19時の間で車の出入りが多く、安全と整理の為に赤灯の必要性を感じた。

平日であっても17時には約230名、19時には360名、25日の10時は210名の参加があった。今年は12月に神学院養成用と75周年記念の2つの献金封筒を置いたため、クリスマス献金封筒を準備

しなかった。来年度から行いたい。6. 教会の設備について(営繕委員会)

教会周辺の木々の剪定、伐採を学園が依頼している三樹園さんをお願いする前に評議会で確認し、評議員の総意として信徒にお知らせし、信徒の理解をいただく。

伐採する対象の木を、地図とイラストとともに事前に掲示してほしいという意見があった。

7. 社会委員会から(信徒協顧問から)

信徒協は、2026年3月31日をもって休止することが役員会の承認を得た。感謝ミサは、2月11日(水)13時より布池カテドラルにて松浦司教様司式の下で執り行われる。参加可能な方と信徒協に関する方との参加を希望する。詳細については、聖堂玄関に掲載される予定です。

審議・相談事項

1. 来年度信徒代表の選出について(信徒代表)

ヨセフ会から松浦氏、マリア会からも松浦氏の推薦があった。2月に最終確認する。

※評議会規約第5条(1)信徒代表の選出には、ヨセフ会、マリア会から信徒代表の任期満了の3ヶ月前までに各1名推薦し、本

会にて検討する。信徒代表の任期満了の3月に、本会の議を経て、主任司祭が任命する。その任期は2年とする。再任を妨げない。但し、その任期は、最長4年を限度とする。信徒代表に任命された者は、各種団体の代表を兼務することとは出来ない。

2. 大聖堂やトイレなどを毎月みんなで掃除する日を設ける件(司祭団、営繕委員会)

また、世代を超えて多くの方々に参加していただくためにこれから大聖堂や聖堂横トイレなどを毎月みんなで掃除する日を設ける方向を探りたい。現在第2日曜日に外の清掃を行っているが、その掃除の区分けに聖堂と聖堂横トイレも組み込めば合理的では、との意見があった。ヨセフ会にて検討してみる。教会の活動として進めていき、みんなが参加するものとしていきたい。

3. 予算について(財務委員長)

25年度の収支計算書をもとに確認が行なわれ、26年度の予算は収入が37,230千円、支出が36,490千円、収支は740千円の黒字で計上した。

各会報告

教会学校 12月14日(日)クリスマス劇を行いました。

12月21日(日) カルメル修道院、聖霊修道院、巡礼に訪れたカトリック大津教会へクリスマスカードを作ってお送りしました。

12月24日(水) 19時ミサで女子が天使の奉仕を行いました。

1月18日(日) 餅つきをします。

## 典礼奉仕者の会

12月25日(木) インドネシアの皆様が、拝領の歌でご奉仕くださいました。

1月1日(木) 新成人のお祝い日、典礼奉仕者として朗読と奉納を新成人が担当しました。

次回 2月1日

## “大斎と小斎”について

川原 稔

### ●信仰の歩みを整えるしるし

カトリック教会における「大斎(だいさい)」と小斎(しょうさい)は、単なる義務や食事制限ではなく、信仰者が神の前に自らを省み、心を新たにするための恵みの道である。イエスは福音の中で、断食を人に誇るためではなく、神との親しい交わりの中で行うよう教えられた。教会はこの主の教えに従い、大斎と小斎を通して、信者が内面の回心へと導かれることを願っている。

### ■教会法と要理の光

教会法は、すべての信者が生涯

を通して悔い改めの精神に生きるよう招かれていることを示している。その具体的な表れが、大斎と小斎である。灰の水曜日と聖金曜日の大斎、そして肉食を控える小斎は、教会の定めに基づく共同体の実践である。カテキズムもまた、断食は祈りや施しと結びつくことで、心を神へと向け直す助けとなると教えている。

### ■愛の戒めとして

大斎と小斎は、規則を守ること自体が目的ではない。むしろそれは、十戒の第一戒に示される「神を第一とする生き方」を日常の中で具体化する行いである。教会の六つの戒めに従うことは、個人の信心を超え、教会全体との一致を深める。自分を少し控えることで、他者への思いやりや、貧しい人々へのまなざしが養われている。

### ★秘跡へと導く恵みの道

大斎と小斎は、ゆるしの秘跡や聖体の秘跡と結びつき、信者をより豊かな秘跡的生活へと導く。食を控えることは目的ではなく、心を開いて神の恵みを受け入れるための準備である。教会はこの実践を通して、信者一人ひとりがキリストの十字架と復活に結ばれ、日々の生活の中で愛と回心を新たにすることを願っている。

## ワンポイントひらめき

秋元 恭子

待降節に入り、ある朝起きて思ったことは、朝祈りで始まり、一日中その流れの中に身を置いて過ごしたいな、と思いました。すぐ気配を感じられるように。すぐ悟れるように。すぐ御言葉を思いだせるように。すぐ聞き従えるように。すぐ分かち合えるように。と。主よ、この私も朝祈りで始まり、あなたを優先し、祈りの内に過ぐす時が欠けることがないように決心させてください。待降節、降誕節だけでなく、年中です。と願い求めました。聖アーノルド・ヤンセンが15分毎に手を休めて祈りの時を持ったのはそのためかと思いました。「あなたが祈るときは、奥まった自分の部屋に入って戸を閉め、隠れたところにおられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れたことを見ておられるあなたの父が報いてくださる。」 マタイ6:6

2026年1月6日

カトリック南山教会主任司祭 Biju Kihakkal 神父さま 信徒一同様

### 主の平安

明けてましておめでとうございます。去年は大変お世話になりました。今年もよろしくお願いいたします。さて、先日『宣教地召命

促進の日』(2025年12月7日)に当たり、南山教会のごミサ

にご招待をいただき、まことにありがとうございました。大勢の皆さまとご一緒にごミサを捧げ、日本をはじめ、世界各地の司祭・修道者の召命のためにお祈りすることができたことを大変嬉しく思っております。また、多額の寄付金まで贈っていただき、本当にありがとうございます。日ごろ南山教会の信徒の皆さまにもお祈り、犠牲や献金で支えていただき、本当に感謝しております。また、助祭叙階、司祭叙階式をはじめ神言会の様々な行事を南山教会で行わせていただいております。いつもお世話になっております。特に、毎年『宣教地召命促進の日』に当たり、私共神言神学院は信徒の皆様のお祈りとご協力によってどれほど支えていただいているかを改めて痛感いたします。改めて、厚くお礼を申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。 Biju 神父さまと南山教会の信徒の皆様の上に、神の豊かな恵みがありますように、こころよりお祈りして、お礼状とさせていただきます。

神言会神学院院长 Richard Szppl

\*献金額は294,345円のことでした。



## 聖家族への祈り

イエス、マリア、ヨセフ、  
あなたがたのうちに、まことの  
愛の輝きを見、信頼を込めてあ  
なたがたにゆだねます。

ナザレの聖家族よ、  
わたしたちの家庭をも交わりの  
場、祈りの高間、福音のまこと  
の学びや、そして小さな家庭の  
教会として下さい。

ナザレの聖家族よ、  
家庭の中で決して暴力も排除も  
分裂も起こることがありません  
ように。

傷ついた人、つまずいた人が  
皆、直ちに慰められ、いやされ  
ますように。

ナザレの聖家族よ、  
わたしたち皆が、家庭の神聖で  
不可侵な生活と、神の計画にお  
けるそのすばらしさを自覚する  
ことができますように。

イエス、マリア、ヨセフ、  
わたしたちに耳を傾け、私たち  
の願いを聞き入れてください。  
アーメン

## 信者の消息

### 帰天

神の栄光にあずかれますように

ヨゼフ 武者 孝信 (89歳)  
チェチリア 打田 佐智子 (94歳)

## 受堅者名簿

|         |                   |                  |                    |
|---------|-------------------|------------------|--------------------|
| クララ     | いとう みさと<br>伊藤 美聡  | マグダレナ<br>ソフィア バラ | ふるはた はるか<br>古畑 春香  |
| ヨゼフ     | はぎわら ゆいと<br>萩原 維人 | レオ               | わたなべ ひろゆき<br>渡辺 弘幸 |
| クララ     | ハ ヘラン             | ジュリアーノ           | ふるはた ゆうき<br>古畑 佑季  |
| 十字架のヨハネ | さとだ はつほ<br>里田 初穂  | マリア・ガブリエラ        | ふくだ けいこ<br>福田 恵子   |
| ソフィア    | わたなべ けいこ<br>渡辺 啓子 | ドミニコ             | トラン リ ナム           |
|         |                   | ヨゼフィーナ・バキタ       | たじま ゆき<br>田島 ゆき    |
|         |                   | ヨゼフ              | チャン ミン ヒエウ         |
|         |                   | マリア              | グエン タン トウイ         |
|         |                   | マリア              | グエン ティ カム          |
|         |                   | マリア              | トラン ティ<br>トウイ リン   |

## 2026年1 - 2月行事予定表

|    | 教会典礼暦  | 南山教会行事  | 各会活動   | 教区行事・その他  |
|----|--|---|--|---|
| 1月 | 1(木)神の母聖マリア・<br>世界平和祈願日<br>4(日)主の公現<br>11(日)主の洗礼 | 1(木)10:00新年平和ミ<br>サ・成人式<br>管区に予算書提出                 | 10(土)典礼委員会<br>4(日)小教区宣教司牧評議会<br>11(日)教会学校・中高生会始業式<br>16(金)マリア会新年会<br>土)子ども部屋<br>土)要約筆記付きミサ<br>18(日)ヨセフ会新年会<br>18(日)教会学校餅つき | 1(木)世界平和の日<br>17(土)レジオマリエ名古屋<br>クア新年会<br>18(日)~25(日)キリスト教<br>一致祈祷週間<br>18(日)新成人を祝う新<br>年の集い<br>25(日)世界子ども助け<br>合いの日(献金) |
| 2月 | (金)主の奉獻<br>18(水)灰の水曜日(大斎・<br>小斎)<br>22(日)四旬節第一主日 | 日)10:00堅信式・日英合<br>同ミサ<br>18(水)灰の水曜日ミサ<br>22(日)洗礼志願式 | (金)マリア会例会(懇談会)<br>(土)典礼委員会<br>(日)小教区宣教司牧評議会<br>(土)子ども部屋<br>(日)ヨセフ会班長会・新年会<br>土)要約筆記付きミサ                                    | 1(日)宣教司牧評議会<br>7(土)殉教者祭(栄國<br>寺)(高山右近)<br>21(土)レジオマリエ名<br>古屋クア<br>18(水)~四旬節愛の献<br>金(四旬節中)                               |